



シルバー
連合会

いしかわ

第33号

平成27年1月発行



北陸新幹線 金沢開業
平成27年3月14日

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <http://www.sjc.ne.jp/ishikawa/>

目次

シルバー人材センター連合会 2015. 1 33号

年頭のご挨拶

会 長	須野原 雄	1
石川県知事	谷 本 正 憲	2
石川労働局長	高 渕 憲 一	3

平成26年度12月末までの主要事業

理事長会議	4
第4回理事会	4
「連合会事業推進計画」(仮称)の策定	5
第2回事務局長会議	5
第1回専門委員会	6
シルバー人材センター活動への「支援要請」	7
普及啓発促進月間事業の実施(10月1日～31日)	8
『健康相談室』<労働衛生コンサルタント池田先生>	12
新規事業<センター支援事業>報告	13
有料職業紹介事業の開始	14
平成26年度シニアワークプログラム事業報告	15
<推進連絡会議・技能講習・就業支援セミナー・管理選考会・受講者の声>	
シルバー人材センターだより	
公益社団法人 小松市シルバー人材センター	18
公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター	19
編集後記	裏表紙

北陸新幹線金沢開業まで

時の内閣総理大臣<佐藤栄作首相>も出席して、1965年(昭和40年)9月、今の金沢城の一角にあった「石川県体育館」で『1日内閣』が開かれ、そこに富山県代表の公述人として出席した「岩川毅氏(砺波市商工会議所会頭)」が、席上、政府に東京を起点にして松本・立山連邦を貫通して富山、金沢を経由して大阪に至る『北陸新幹線』の建設を提案したことが、運輸官僚出身の佐藤総理の共感を得て、その構想が発表されたと言われています。

その後、1970年(昭和45年)「全国新幹線鉄道整備法」が制定され、開業に向けて半世紀幾多の苦難を克服して、2015年(平成27年)3月14日午前6時に、北陸新幹線は『金沢駅』から関係者と県民の夢を乗せて東京へスタートすることでしょう……。



年頭のご挨拶

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会 長 須野原 雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は当連合会の運営及び諸活動に
つきまして格別のご理解とご支援を賜り厚く御
礼申し上げます。

さて、我が国では、少子高齢化が急速に進展
しており、平成26年9月の推計（総務省統計
局）において65歳以上の高齢人口が3,300万人
で高齢化率が29.8%に達し、過去最高となりま
した。平成26年度中には団塊の世代すべてが
65歳に達し、平成37年には高齢化率が30%を
超え、平成47年には高齢化率33.4%と人口の
3分の1が65歳以上となる高齢化社会を迎え
ると推測されております。

一方で、65歳（定年）を過ぎてからも働き
たいと考えている人は平成25年9月の総理府
推計で8割を占めるとの調査結果もあります。
昨今の経済情勢を反映してか高齢者の就業意欲
は高まるばかりですが、健康で働き続けること
のできる環境整備が整っていないと思われ、少

子化とも相まって労働力人口の減少が課題と
なっており、経済社会の活力を維持し推進して
いくためには、豊富な経験・知識そして意欲の
ある高齢者層が社会の担い手として活躍し続
けることが何よりの課題であり、求められるシ
ルバー人材センターの果たす役割がますます大
きくなってくると考えております。そうした中
でこれからも安全・適正就業を推進し、シル
バー事業の一層の発展と拡充を目指し、会員の
増加や就業機会の拡大に貢献できますよう努力
してまいる所存であります。

また、新春早々の3月には北陸新幹線の開
業、2020年には東京オリンピックが開催され
る明るい話題もあり、シルバー事業の拡大にも
結びつくものと期待しているところでありま
す。

最後になりますが、関係機関の皆様には倍旧
のご指導・ご支援を賜りますよう、併せて会員
皆様のご健勝をご祈念申し上げ新年のご挨拶と
いたします。

謹 賀 新 年

会 長 須野原 雄

公益社団法人 金沢市シルバー人材センター理事

副会長 谷 充 行

公益社団法人 珠洲市シルバー人材センター理事長

副会長 森 田 弘

公益社団法人 白山市シルバー人材センター理事長

理 事 菅 野 守 二

公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター理事長

理 事 久 保 雅 博

公益社団法人 七尾市シルバー人材センター理事長

理 事 野 村 徳 行

公益社団法人 加賀市シルバー人材センター理事長

監 事 矢 田 征 夫

公益社団法人 津幡町シルバー人材センター理事長

監 事 西 川 昇 剛

公益社団法人 野々市市シルバー人材センター理事長

理 事 山 本 正 廣

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会事務局長



年頭のご挨拶

石川県知事 谷本 正 憲

石川の産業の確かな成長に向けて

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

3月14日の北陸新幹線金沢開業まで秒読み段階となり、昭和48年の整備計画決定以来、40年来の悲願がついに実現する、記念すべき年明けを迎えました。

北陸新幹線は、ただ単に大量輸送機能というだけでなく、石川が有する歴史や文化、自然等の潜在的な魅力を顕在化させる有効な手段です。この千載一遇の好機を活かし、県下全域に開業効果を波及させ、交流人口の増加、ひいては移住・定住人口の増加など、石川の活性化に結びつけていかなければなりません。

まずは、新幹線開業効果を最大限に引き出すため、JRが行うPRと合わせて、首都圏で波動的・効果的な情報発信を行うとともに、昨年オープンした新アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」を物販のみならず観光誘客、移住促進等の拠点として積極的に活用していきます。さらに、今春から始まるNHK連続テレビ小説「まれ」も活用し、誘客拡大を図ってまいります。

折しも地方創生が大きな課題となる中、新幹線開業は他の地域にはない石川の優位性であり、東京オリンピックも見据え、開業効果を持続・発展させていかなければなりません。

そのためにも、モノづくり企業の集積、豊かな文化の土壌、素晴らしい自然環境など本県が有する数多くの財産にさらに磨きをかけ、雇用の場の創出を図るとともに、道路や港湾、空港の整備とネットワークの充実など、陸・海・空の交流基盤のさらなる整備を行っていく必要があります。

最近の本県経済は、鉱工業生産指数・有効求人倍率ともにリーマンショック時を超える水準で推移しておりますが、景気回復については、その効果が県内各地、各業種に隈なく及ぶことが重要です。

こうした中、本県の産業を持続的な発展に導くためには、石川の強みを活かした次代の成長を担う産業を創造するなど、産業の多重化・多軸化により、景気の動向に左右されにくい骨太な産業構造を実現していく必要があります。こうした道筋を力強く示すため、県では、昨年、今後10年を見据えた新たな産業振興指針となる「石川県産業成長戦略」を策定したところです。

この戦略の柱の一つである産業人材の総合的育成・確保については、企業が求める質の高い人材の確保に向け、企業の成長を牽引する技術開発・商品開発等を担う人材の確保や、将来の海外事業を担う若手社員の育成などに集中的に支援していくとともに、学生の就職環境の改善も踏まえ、大学との就職協定の締結などUターン就職の促進に向けた取り組みを通して、中小企業の新卒学生の確保支援をさらに強化することとしております。

こうした人材面の取り組みを通じて、企業の成長が新たな雇用につながるという好循環を創出し、さらなる産業の成長につながるよう、今後ともしっかりと後押ししてまいります。

また、高齢者雇用については、「支えられる側」でなく、社会を「支える側」としての高齢者の活躍に注目が集まっているところであり、意欲と能力のある高齢者が年齢に関わらず、その知識・経験を活かして働くことができる「生涯現役社会」の実現に向け、多様かつ柔軟な働き方が可能な環境を確保していくことが重要です。

こうした中、様々な社会参加を通じて、高齢者の健康や生きがいづくり、地域社会の活性化に貢献されている貴センターの果たす役割は、今後ますます重要であり、県としましても、引き続き、その取り組みを支援していきたいと考えております。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

石川労働局長 高 淵 憲 一

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、平成27年の新春をお健やかに
迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は、石川労働局の業務運営に
深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢につきましては、北陸
新幹線の金沢開業に向けた期待が高まる中、基幹
産業である製造業を中心に新規求人は堅調に推移
しており、有効求人倍率は1倍を超える状況が続
いているなど、改善傾向にあるところです。

このような中、高齢者を取り巻く状況を見
ますと、平成26年6月1日現在、県内31人以
上規模企業において「定年の定め廃止」、
「定年の引き上げ」及び「継続雇用制度の導入」
といった65歳までの雇用確保措置を「実施済
み」とした企業の割合は96.8%と、前年に比べ
7.2ポイント増加しています。さらに、希望者
全員が65歳以上まで働ける企業の割合も
73.0%と、前年に比べ3.5ポイント増加してい
るなど、平成25年4月の高齢者雇用安定法
の改正から1年9か月が経過し、企業において
も、希望者全員65歳以上まで意欲と能力に応
じて働き続けられる環境の整備が着実に進んで
いることが見られる状況にあります。

我が国の高齢者は、諸外国と比較しても労
働力率や理想とする引退年齢が高く、また、高
齢者の健康状態や体力の水準は着実に向上し
ていますので、就業意欲の高い高齢者に対し
て就業の場を拡大していくことは、高齢化社会
が進行している我が国にとって極めて重要な課
題となっています。また、高齢者に適切な就
業機会を提供することは、その意欲に応えるば
かりでなく、長い職業経験によって培われた技
術、技能を次の世代に継承することにも役立

ち、高齢者の持つ意欲と能力を社会全体とし
て生かしていくことにつながります。

そのため、今後は高齢者の潜在的な力を十
分に引き出しつつ、いくつになっても働き続け
ることができる活力ある高齢化社会を構築して
いく必要があるほか、高齢者の引退過程にお
ける選択肢を充実させていくことも求められて
おり、これらによって、高齢者が社会参加の
意欲を高めていくことがますます重要になって
いるところです。

シルバー人材センター事業は、高齢者の多
様な就業・社会参加の促進を目的としており、
急速に進行する我が国の高齢化施策として、高
齢者の雇用確保措置の促進や中高齢者の再
就職の援助・促進と並ぶ重要施策として位置づ
けられております。そして、地域における高年
齢者の就業機会の拡大だけでなく、高齢会員の
生活環境に合わせたボランティア活動や趣味
を生かしたサークル活動など、多様な社会活動
への参加を促進する上で、人との交流や社会と
のつながりを保つ場として重要な役割を担って
おり、活力ある高齢化社会の実現に大きな貢献
を果たしております。

石川労働局といたしましても、貴連合会や石
川県と連携を図りながら、シルバー人材セン
ター事業を通じて多くの方が就業の機会を得
て、会員の皆様が福祉の受け手から社会の担い
手となって御活躍いただけるよう、必要な支援
を行っていくこととしております。

関係の皆様におかれましては、健康と安全に
御留意され、引き続き御尽力・御協力を賜りま
すようお願い申し上げますとともに、シルバー
人材センター事業の更なる発展と関係各位の
益々の御健勝と御発展を心から祈念いたしまし
て、新年の御挨拶といたします。

平成26年度12月末までの主要事業

理事長会議

本年度、初めての試みとして理事長会議が11月18日(火)、石川県女性センターで、県下18シルバー人材センターの理事長が参加し開催されました。

少子高齢化が急速に進む中でシルバー人材センターを取り巻く環境は極めて厳しく、会員をはじめ、これから入会を希望する方々が意欲と能力に応じて働き続けられる環境を整備するため各センター間の情報を共有することを目的に開催したものです。

始めに、連合会の事務局長から「公益社団法人としてのコンプライアンス」「シルバー事業のあり方に関する検討会第三次報告」などの説明を行いました。

続いて、各センターから

①会員の拡大

②安全・適正就業の徹底

③就業開拓と独自事業

等について、活発な意見・情報交換が行われました。

また、このように理事長が一堂に会する会議を次年度以降も開催してほしいとの意見も寄せられました。



理事長会議

第4回理事会

11月18日(火)、石川県女性センターで第4回理事会を開催しました。

須野原雄会長から「県内のシルバー事業の実績及び会員数はともに減少傾向に変わりなく、取り巻く環境は依然として厳しい。理事・監事の皆さんからの創意と行動力をお借りし活性化に向けた環境を醸成したい。」とあいさつの後、議案審議に入りました。

提案された「平成26年度収支補正予算について」審議の結果、提案のとおり承認されました。



須野原雄会長あいさつ

また、報告事項として「平成26年度前期の業務執行状況報告」以下6点について事務局から説明いたしました。

1 議 題

(1) 第1号議案

平成26年度収支補正予算について

2 報告事項

(1) 業務執行状況報告(平成26年度前期)

(2) 第3回理事会第1号議案「印章規程の一部変更承認について」の決議

(3) 連合会基本計画〔事業推進計画〕(仮称)の策定

(4) 安全・適正就業の徹底

(5) 平成27年度シルバー事業関係等概算要求の概要

(6) シルバー事業のあり方に関する検討会第三次報告書

「連合会事業推進計画」(仮称)の策定

シルバー事業を取り巻く環境が大きく変化している中、中期的な視点に立った事業の推進が求められており、その基本的な方針を定めるものが「事業推進計画(仮称)」であり、今回、連合会を含めた本県のシルバー事業全体の方向性や方策推進の指針となる計画を策定するため、連合会普及啓発推進委員会において、今年度末までの計画策定に向けて作業を進めております。

○ 検討事項とその日程

26年9月25日	1回委員会	計画骨子案等検討
10月29日	2回委員会	項目案等検討
12月9日	3回委員会	素案の検討

27年1月	4回委員会	修正案の検討
3月	理事会	で案の確認及び承認
4月		計画実行



第1回委員会

第2回事務局長会議

第2回事務局長会議が石川労働局職業対策課の苗山里美高齢者対策担当官を招き、県内18センターの事務局長をはじめ関係者26名が出席して、10月7日(火)、金沢市ものづくり会館で開催されました。

開会にあたり、須野原雄会長から「シルバー人材センターを取り巻く現状は大変厳しい、創意を持って事業の活性化にご理解とご協力を…」との挨拶のあと、苗山高齢者対策担当官から「高齢者雇用対策の現状等」と題してお話があり、「総務省の就業構造基本調査から、60歳以上

の男女が『働けるうちは何時までも働きたい』という方が全体の36.8%を占めており、今後シルバー会員に誘い込む予備軍といえるのでは」と話されました。



苗山高齢者対策担当官

続いて、事務局次長から「全国連合会事務局長会議の報告」「S P 地域事業の進捗状況」等、事務局長から「連合会の中長期基本計画作成の経過説明」「安全・適正就業の徹底」の説明を行い出席者の理解と協力体制を共有しました。

また、「最低賃金法改正に伴う適正運営の徹底について」は、改正法の施行(平成26年10月5日)により、シルバー人材センターでの派遣業務等で就業するには注意が必要なことなどの説明がありました。

その他、意見交換の席では、労働者派遣事業の「3年問題」も議論され、今後早期解決が図られるよう認識を共有して閉会しました。



事務局長会議

第1回専門委員会

第1回専門委員会が11月5日(水)石川県女性センターで、各専門委員会(普及啓発推進専門委員会、就業開拓推進専門委員会、交流研修専門委員会、安全・適正就業推進委員会)が開催され、平成26年度の4委員会の新規委員の委嘱及び委員長等の選任後、前期実施事業の検証と具体的課題について意見交換を行いました。中でも安全・適正就業の推進活動については各委員から安全作業の徹底と事故防止策との関係について、真剣な取り組み状況が報告され、今後も最重要テーマとして取り組みを強化することが確認されました。

併せて、独自事業の開発や就業開拓の内容充実のために、センターに対して行った「アンケート」の意見を集約したところ、4委員会に対して次のような課題や要望があり、委員会ごとに討議されました。

I 普及啓発推進専門委員会

要望・提言

- ・会員増強対策として「マスメディア」の活用を
- ・全県的な「イベント開催(事業として)」で事業PRを
＜他団体を巻き込んでシルバー主体で取り組むイベントなど＞
- ・定期的に「出張入会説明会」を実施している。(退会者の歯止め策はないか)



普及啓発推進専門委員会

- ・タペストリー(会員募集)(仕事募集)(作業中)等々活用を

II 就業開拓推進専門委員会

要望・提言

- ・ハローワークと連携した企業への人材派遣を
- ・他都市の「好事例就業開拓」をもっと検証しては
- ・SCの就業形態や制度内容を、お客様に的確に伝えられる「独自のセールストーク集」作成を(各シルバーの説明内容に齟齬がないよう)
- ・同一企業へ複数のシルバーから派遣する場合、条件等が異なる場合がある
- ・女性会員の拡大、ホワイトカラー職種分野の拡大が必要、対策を
- ・就業先は増加しているが、会員が増えないので苦慮している



就業開拓推進専門委員会

III 交流研修専門委員会

要望・提言

- ・新法人に係る「経理研修」の開催希望
- ・営業に係る「コミュニケーションスキルアップ研修」を(訪問時の接遇)
- ・県内、県外との交流研修を定期的に開催を
- ・研修に係る費用を一部連合会で助成できないか

- ・事務局職員のスキルアップ研修を定期的に開催しては



交流研修専門委員会

- ・県内センター間で、好事例、先進事業等定期的な情報交換の場を
- ・刈払機に「バリカン型」を導入してはどうか（飛び石防止対策）
- ・安全・適正就業推進大会に「事例発表」の時間を設けては
＜会員、職員とも事業に向かう姿勢が変わるのでは＞

等、一部の事柄はすでに実施しているところですが、今後の検討課題として抜粋しました。

Ⅳ 安全・適正就業推進専門委員会

要望・提言

- ・適正就業と法令遵守の対応が困難だ、検討願いたい
- ・請負契約書、請書の様式を県内統一のものにならないか
- ・重篤事故の賠償等の問題、健康管理面の対策、情報の交換を希望
＜特に、運転手業務の健康管理指導等＞



安全・適正就業推進専門委員会

シルバー人材センター活動への「支援要請」

平成26年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づく要望事項として、須野原雄会長が石川県、石川労働局、市長会、町長会などに要請を行いました。

団塊の世代が労働市場からの引退過程にあり、加えて少子化・核家族化が進む中、シルバー人材センターでは受け皿となり得る機能の充実が求められ「高齢者の多様な就業ニーズ」「地域社会の日常生活に密着した高齢化対策」が十分に果たせることを願い、平成27年度のセンター事業に関する補助金・助成金の確立と公共事業の発注が前年度以上に充実することを求めたものです。センター事業は会員が生き甲斐をもって地域参加することで医療・介護関係事業の財政負担を軽減し、ひいては高齢者の知識と経験が「支えられる立場」から「支える立場」となり地方自治体の高齢社会対策の中心的事業として寄与することができるものと考えております。



石川県（田中新太郎商工労働部長）に支援要請

普及啓発促進月間事業の実施（10月1日～31日）

全国シルバー人材センター事業協会では、10月をシルバー人材センター事業「普及啓発促進月間」として位置づけ、第3土曜日を「シルバーの日」に設定し、全国のシルバー人材センターの役職員と会員が一体となり地域への社会奉仕活動及びシルバー事業の普及啓発活動を展開しています。

今年度も、連合会をはじめ県内18シルバー人材センターが、10月18日（土）のシルバーの日を中心に、所在している市・町民との交流を図る「シルバーフェア」や「地域の公共施設等の美化活動」を実施し、晴天の秋空のもと普及啓発活動に心地良い汗を流しました。

以下、県内の18センターと連合会の状況を紹介します。

（公社）石川県シルバー人材センター連合会

- ・普及啓発活動を須野原雄会長以下職員が金沢市武蔵町の名鉄エムザ・近江町市場前で「幼児用グッズ」「ティッシュ」を配布し、シルバー事業の活用、会員募集の活動を実施



須野原会長啓発活動

（公社）金沢市シルバー人材センター

- ・「シルバーフェスタ金沢2014」と名打って模擬店やミニ新幹線試乗会、体力測定等豊富なメニューで誘客を図り、例年以上の賑わいで市民にシルバー事業普及活動を実現した
- また、「シルバー友の会」を開催し、来賓と賛助会員21社や協力企業及び役職員が連携した事業充実と拡大を図った



ミニ北陸新幹線を楽しむ

（公社）小松市シルバー人材センター

- ・小松どんどんまつりに参加しキャンペーン活動を実施
- ・シルバー感謝祭を市内の取次店で開催
模擬店（会員製作品、野菜等販売）を出店
- ・地区別に公園等の清掃活動実施



シルバー感謝祭



友の会開催

(公社)七尾市シルバー人材センター

- ・「大ふれあい市」を開催（ふれあいの集い、交通安全教室、会員製作品・リサイクル品展示販売）
- ・公園の清掃ボランティア作業実施
- ・来場者1,500余名



ふれあいの集い

(公社)羽咋市シルバー人材センター

- ・老人クラブ連合会イベントでシルバー農園のチラシ・ティッシュ配布
- ・すこやかセンター周辺の草刈り等美化活動



すこやかセンター周辺で美化活動

(公社)加賀市シルバー人材センター

- ・800名の会員を通じ就業拡大チラシ配布
- ・北國、北陸中日新聞に就業拡大、会員募集の独自チラシ折り込み実施
- ・市公園等の美化活動（草刈り、空缶拾い等）
- ・商工会イベントに模擬店出店（餅つき、たこ焼き等）



片山津温泉商工振興会イベントで協賛模擬店出店

(公社)野々市市シルバー人材センター

- ・一人1会員、一人1就業開拓運動活動を実施
- ・配布物独自チラシ、ティッシュ1,790枚他に新聞折込み実施
- ・他に金沢市SCのフェスタに模擬店参加



独自チラシ



金沢市SCフェスタで模擬店

(公社)白山市シルバー人材センター

- ・普及啓発活動をスーパー出入口で実施
- ・配布物幼児グッズ50個、ティッシュ1,000個を配布し就業開拓・会員募集活動を実施



市内ショッピングセンターで普及啓発活動

(公社)珠洲市シルバー人材センター

- ・普及啓発活動をスーパー駐車場で実施
- ・国民宿舎や健康センター周辺の美化活動実施
- ・のぼり旗掲揚、ティッシュ配布



健康センター周辺で除草清掃作業

(公社)輪島市シルバー人材センター

- ・ わじま里山里海まつりに「フリーマーケット」参加、会員の手作り品、栽培野菜等販売、市民と交流を図る
- ・ フラット訪夢等市公共施設6ヶ所で役職員、会員が除草等の奉仕活動実施



わじま里山里海まつり

(公社)能登町シルバー人材センター

- ・ 普及啓発活動は、スーパーで独自パンフ、ティッシュの配布活動
- ・ 奉仕活動は、町内6ヶ所の幼稚園除草等美化活動
- ・ 金沢市SCの「シニアフェスタ」に役職員、会員で模擬店参加



シルバーサロン「わかくさ」前でチラシ配布



ホームセンター前でチラシ配布

(公社)かほく市シルバー人材センター

- ・ かほく市生涯フェスタに自作のパネルで広報、啓発を実施
- ・ 生涯学習センター等公共施設5ヶ所に広報資料配置し広報



生涯学習フェスタでパネル広報活動

(公社)志賀町シルバー人材センター

- ・ 普及啓発活動
ショッピングモール「アスタ」で、就業・会員募集の名入りティッシュの配布活動を実施



ショッピング前で啓発活動

(公社)津幡町シルバー人材センター

- ・ 町内3ヶ所のスーパーの店頭で普及啓発活動実施
- ・ のぼり旗を掲揚しリーフレット、ティッシュ配布活動実施



町内スーパーマーケット3ヶ所で啓発活動

(公社)中能登町シルバー人材センター

- ・アルプラザ鹿島店で入り口他3ヶ所にのぼり旗を掲げ、シルバーの広報チラシとティッシュ配布の普及活動を実施



町内スーパーマーケットで啓発活動

(公社)宝達志水町シルバー人材センター

- ・月間中の活動として、サクラドーム21で開催された町民文化祭等の会場でティッシュ、チラシ配布活動やボランティア活動として地域の美化活動をした



スーパー前で啓発活動

(公社)能美市シルバー人材センター

- ・九谷陶芸村まつりに参加し、栽培した「まるいも・野菜等」販売模擬店出店
- ・来場者、4,000余名
- ・配布物、独自チラシ、ティッシュ、タオル、幼児グッズ



九谷陶芸村まつりに参加

(公社)内灘町シルバー人材センター

- ・ボランティア活動は「海岸の清掃作業」
- ・普及啓発活動は、会員手作り品販売と啓発用品の配布活動
- ・来場者120余名



会員「オパール会」メンバーの作品展

(公社)穴水町シルバー人材センター

- ・穴水町社会福祉大会に参加し、会員募集就業拡大の活動を実施
- ・配布物パンフレット、ティッシュを配布した。併せて、グラウンドゴルフ参加者にも啓発した



穴水町老人クラブ連合会に参加

『健康相談室』

シニア世代の血圧対策は


 労働衛生コンサルタント
医療法人洋和会 副理事長

池田 裕也 先生

石川県シルバー人材センター連合会の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も何卒よろしくお願い致します。

さて、不適切な食生活、運動不足、飲酒、喫煙、不眠症、ストレスの蓄積など不健康な生活習慣によって発症する高血圧症、糖尿病、高脂血症、肥満などを「生活習慣病」と言います。食べ過ぎと運動不足により内蔵脂肪が蓄積して肥満となり、その脂肪細胞から放出される生活習慣病原因物質が高血圧症、糖尿病、高脂血症を発症したり悪化させたりします。その結果動脈硬化が起こり、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞発症や悪化の原因となることが解っています。いくつかの疾患や肥満が重なるとさらにその危険が高まります。このような状態を「メタボリック症候群」と称します。一旦、内蔵脂肪が蓄積してしまうと悪循環に陥りますから、この状態を断ち切ることが必要となります。ある調査によれば、わが国におけるリスク要因別の関連死亡者数の上位は喫煙、高血圧、運動不足、高血糖、塩分、飲酒の順でした。このことから健康維持に有効なのは禁煙、運動、節食、減塩、節酒と言えます。

1. 禁煙 絶対！
2. 速歩き一日30分を少なくとも週3日
3. 食べ過ぎは禁物
一日におにぎり一個、ご飯は一杯半セーブしましょう。一ヶ月で体重1kg減に相当します
肉の脂、乳製品、卵黄を控え、魚、大豆製品（納豆、豆腐、豆乳）、野菜、海藻を多く摂る
4. 塩分は控える
5. お酒はほどほどに
6. 少なくとも6時間は睡眠をとる

日本産業衛生学会はタバコ煙をアスベスト等とともに人体に明らかな発がん性物質として第1群に挙げています。また、タバコ煙はPM2.5でもあります。禁煙すると、目覚めがさわやか、食べ物が美味しく、咳や痰が止まるなどのメリットがあります。まず、建物内禁煙を推進しましょう。喫煙者は禁煙をしましょう。生活習慣のなかに少し自分に合ったダイエット法を組み入れてみてはいかがでしょうか。体脂肪1kgは約7000kcalに相当します。1ヶ月に1kgの体重を減らす目標にするなら、 $7000\text{kcal} \div 30\text{日} = 1\text{日約}240\text{kcal}$ の消費または食事のセーブで達成できます。例えば、帰宅後30分歩いて100kcal消費し、残り140kcalは食事を減らします。140kcalは、ご飯なら小さめの茶碗に軽く1杯（100g）、6枚切りの食パンなら1枚、マヨネーズなら大さじ2杯、調理で使う油なら大さじ1杯強（約15g）、板チョコなら1/2枚分が、これに相当します。毎日続けられる自分に合った食事の減量方法が見つかれば、少しのことでも確実に体重が減らせます。あせらずゆっくりとダイエット

しましょう。最後に睡眠も健康であるためには大切な要素です。少なくとも6時間は寝る、6時間以上睡眠をとらないと生活習慣病を悪くするという調査もあります。職場では月100時間超える時間外労働が心身に影響を及ぼすことから医師による面談が求められます。100時間超えると6時間の睡眠の確保が困難となることとも関連します。良眠のためにはお酒は程よい量でストレスの解消にはなりますが、くれぐれも飲み過ぎに注意しましょう。特に寝酒は良くありません。寝入りが悪い、夜中に起きてしまう、早朝に起きてしまう、ぐっすり寝た気がしないなどを解決するための飲酒は禁物です。寝る前に身体を温めたり、ストレッチをしたり、牛乳やバナナを摂取する（メラトニンを増加する）、部屋を十分に暗くするなど取り入れてみてください。

今年は生活習慣病やメタボを克服する一年にしてみませんか。食事がおいしくなり、体重やお腹周りが減り、血糖値・血圧が下がり、お薬が減り、年末には今より健康になっていらっしゃると思います。

皆様が健やかにこの一年過ごせるよう念じております。

参 考

各々150kcal相当
雪見だいふく 2個入り1パック
カップヌードル 1/2個
チョコパイ 1個
マクドナルドのチーズバーガー 1/2個
カステラ 1切れ
みたらし団子 1本
ふかし芋大さめ（200g程度） 1本
350ml缶ビール 1缶
日本酒 約1合

メタボリックシンドローム診断基準

☆内臓脂肪（腹部内脂肪）蓄積

内臓脂肪面積：

男女とも100cm²に相当

ウエスト周囲径

男性：85cm以上 女性：90cm以上

上記に加え以下のうち2項目以上

☆脂質代謝異常

- ・高トリグリセライド血症
- ・低HDLコレステロール血症

中性脂肪値

150mg/dL以上

かつ

または

HDLコレステロール値

40mg/dL未満
（男女とも）

☆血圧高値

収縮期血圧

130mmHg以上

かつ

または

拡張期血圧

85mmHg以上

☆糖代謝異常

- ・空腹時高血糖

空腹時血糖値

100mg/dL以上

内臓脂肪の蓄積はウエスト周囲径で推定できますので、担当医と相談しながら生活習慣を改善して、ウエスト周囲径を基準以内におさめるように努力してください。

人間ドック健診情報管理指導士

 労働衛生コンサルタント 池田 裕也
池田病院 管理栄養士 北山 絵美

新規事業＜センター支援事業＞報告

シルバー人材センターを取り巻く状況は、高齢法改正で希望者全員が65歳まで継続雇用を確保されることなどから会員が減少傾向にあります。

このような状況下で、新規会員の確保は勿論、現会員の技能の向上に努めることが、地域社会により貢献できることから、シルバー事業を推進する必要があります。

＜支援方法＞

- 1 実施講習 刈払機操作講習(学科5 H実技1 H)
- 2 対 象 者 県内の各シルバー人材センター会員
- 3 対象人員 各シルバー人材センター10名程度
- 4 費用負担 石川県シルバー人材センター連合会

なお、他のコースについて希望があった場合は、都度協議とする。

11月末までの実施状況は、次のとおりです。

最近のシルバーの就業現場では、安全と適正就業の徹底が一層求められ、雇用契約面でも契約の形態の見直しや変更の指導もあります。会員の業務範囲で屋外清掃等の刈払作業では、「安全講習修了者に限る」と付され、就労機会が大幅に減少し、各センターでは対応を急がれており、当面、「刈払機操作講習」を支援し、県内各センター会員の就業機会の拡大に寄与したいと考え、センターが会員に実施する技能講習等に対し、今年度から講師を派遣するなどの支援を実施しています。

平成26年度 センター支援事業 実施状況

(平成26年11月末日現在)

区 分	開 催 回 数	修 了 者	備 考
造園(剪定鋏の使い方)	1	60	志賀町センター
刈払機基本操作講習	11	98	加賀市 以下13センター
ハウスキーピング	1	20	能登町センター
計	13	178	
開催予定(平成27年1月26日)			
介護補助者技術講習	1		内灘町センター



刈払機学科講習



基本実技講習

有料職業紹介事業の開始 短期間の人材確保に最適！

平成24年4月に労働者派遣法が改正されたことに伴い、高齢法も改正され、当連合会が行ってきた「無料職業紹介事業」が「有料職業紹介事業」に改められました。

当連合会では、石川労働局に有料職業紹介事業の実施に係る届出を行い受理され、平成26年8月1日から事業を開始いたしました。事業の概要は次のとおりです。

有料職業紹介事業

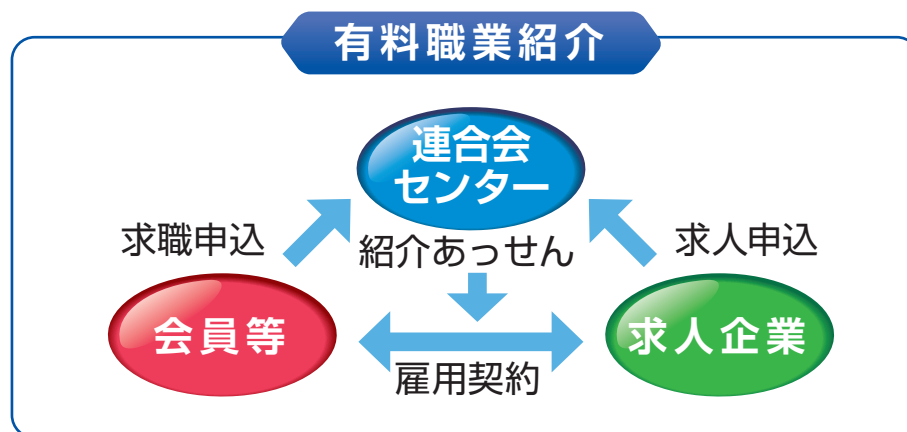
- ・当連合会及びシルバー人材センターは、60歳以上の方々の就業促進のために、ハローワークと連携して職業紹介事業を展開しています。就職を希望する高齢者（会員のみならず、一般高齢者を含む。）に職業紹介を行っています。高齢者の採用に関心のある事業所の皆様はお声を掛けてください。
- ・労災保険の適用はありますが、社会保険、雇用保険の適用はありません。

職業紹介 〈求人申込のあったもの〉

- ・センターの紹介により、雇用された先で就職する。
- ・対価は賃金として企業から直接会員等に支払われる。



説明会



平成26年度シニアワークプログラム 地域事業実施状況

国からの委託を受けて、55歳以上の高齢者等を対象に雇用（常用・パート）を前提とした技能講習会・就業支援講座・講習終了後の管理選考会（面接会）を実施しております。

県内中心部を「金沢地域」南部を「小松地域」北部を「七尾地域」「能登地域」と大枠4地域に7名の就業開拓推進員を配置し求人開拓や職業相談業務等を推進しています。

最近の雇用失業情勢は、新規求人数が増加傾向にあり、求人倍率は全国上位にランクされています。一方で求職者が減少しており受講定員の確保に苦慮しましたが、ハローワークとの連携により目標達成は目前です。また、管理選考会においては、人手不足業界の外に最近では製造関連企業の参加が見受けられ求人難の状況が見て取れます。しかし、依然として高齢者の雇用環境は厳しい状況にあるのも事実です。

平成26年度シニアワークプログラム地域事業第2回推進連絡会議

12月12日（金）石川県女性センターにおいて、谷内社会保険労務士をはじめ、石川労働局、石川県、ハローワーク、業界団体等の各関係機関から14名の委員が出席し、シニアワークプログラム地域事業（以下「S P事業」という。）第2回推進連絡会議が開催されました。

当連合会山本事務局長より「日頃の高齢者雇用支援に協力ご支援いただき感謝します。」との挨拶があった後、S P事業の推進について意見交換が行われ、ハローワークでは求人が増加傾向で推移している最近では製造関連の求人が多い。一方求職者は思うほど減少していないが、在職中の求職者が増加しており、業界団体からは、高齢法による継続雇用制度が定着する中、高齢者の採用意向は高くない。

しかし、中小企業は製造関係を中心に求人は活発である。また、U I ターン事業の企業アンケートでは高齢者の採用意向は少ない状況との発言も聞かれた。

人手不足業界では、新幹線開業の影響もあり人材不足に拍車がかかっている状況である。中には、「高齢者でも経験者は即戦力」との力強い意見もあり、今後は、未就職者の経験に重点を置いた求人開拓を強化します。



推進連絡会議

技能講習地域別開催状況

(平成26年11月末日現在)

開催地域	講習名	受講定員	受講者
金沢地域	介護職員初任者研修、経理事務&IT、オフィス・ハウスキーピング&調理講習、フォークリフト、警備業務講習、造園・刈払機講習、ビジネスPOP講習、ビジネスパソコン実務講習	201人	167人
小松地域	介護職員初任者研修、営農アシスタント講習(野菜栽培)、経理事務&IT、オフィス・ハウスキーピング&調理講習、フォークリフト、造園・刈払機講習、ビジネスパソコン実務講習	156人	116人
七尾地域	営農アシスタント講習(野菜栽培)、造園&ガーデニング、オフィス・ハウスキーピング&調理講習、造園・刈払機講習、実践介護講習	150人	126人
能登地域	営農アシスタント講習(野菜栽培)、オフィス・ハウスキーピング&調理講習、フォークリフト、造園・刈払機講習、実践介護講習	111人	96人
合計	36回	618人	505人
※参考25年度実績	38回	715人	649人

七尾オフィススキーピング
閉講 9/19

能登介護実践閉講式 10/29

就業支援セミナー地域別開催状況

(平成26年11月末日現在)

開催地域	予定回数	実施回数	定員	内容	受講者
金沢地域	12回	11回	221人	健康管理、求職活動	162人
小松地域	9	8	156	健康管理、求職活動	110
七尾地域	8	8	130	健康管理、求職活動	96
能登地域	6	6	111	健康管理、求職活動	85
合計	35	33	618		453
※参考25年度実績	32	32	640		591

穴水フォークリフト
就業支援セミナー 10/10

羽咋造園就業支援セミナー 7/31

管理選考会(合同面接会)地域別開催状況

(平成26年11月末日現在)

開催地域	回数	企業	求人数	求職者	就職
金沢地域	9	62 44	212 569	148	40
加賀地域	8	35 26	85 258	87	35
七尾地域	9	46 21	120 175	105	37
能登地域	6	21 13	43 61	75	11
合計	32	164 104	460 1,063	415	123
※参考25年度実績	24	275 218	796 2,035	433	96



小松介護面接会 9/9



白山POP面接会 11/26

※ 企業欄：上段/求人確保企業数、下段/面接会参加企業数

※ 求人数欄：上段/件数、下段/求人数

受託事業受講者コーナー

シニアワークプログラム技能講習 受講者からの声

「フォークリフト講習」を受講して

白山市 古田 茂さん



前会社との雇用契約が終了して2ヶ月間、ハローワークへ通う気持ちは落ち込む日々が続いていました。そこで紹介されたのがシルバー人材センター技能講習のパンフレットでした。ハローワークの雇

用募集紹介票にはフォークリフトの資格が必要なものも見られたのですぐに申し込みました。石川県シルバー人材センター連合会にて面接選考があり受講者決定通知を受けました。

講習会場は小松市で受講期間中は車で通うことになりました。初日は開校式に続いて学科講習と試験があり、合格しないと実技講習を受けられません。会場には同年齢の男性が多数参加しており、驚いたことに女性が1人と、なんと81歳の男性が1人参加していました（お二人とも合格しました）。寝ていた脳みそを発奮させて頑張った結果第一段階をパスし、次週からは実技が始まるとフォークリフトの舵取り車輪が後輪であり、これが大変でコースの前・後進でハンドル操作が思うように動きません。実技先生から厳しい指導を受けながらもこれでは合格出来るのか不安の3日間が続き、4日目の実技試験を迎えました。パレットに1トンの荷物があり2段取りで荷物を運ぶ実技試験では緊張しましたが、制限時間内にクリアし合格出来ました。

実技の先生のご指導には心より感謝いたします。有難うございました。

閉講式では、特別講師からこれからの人生は前向きに考え、健康で仕事や趣味をしていれば、楽しく過ごすことが出来ると話されていたことが印象的でした。

閉講式の後で企業就職面談会があり、偶然にも以前に面識のあった方と遭遇し、ハローワークに紹介されていた業務に就くことが出来ました。

石川県シルバー人材センター連合会のスタッフの皆さんには、今回の受講に際し大変お世話になり心よりお礼申し上げます。



「警備業務講習」を受講して

川北町 米 一 裕さん



この度、シルバー人材センター連合会主催の技能講習「警備業務コース」を受講させていただきました。就職活動の一環として受講したつもりでしたが、受講した内容が

施設2級の受検対策用の講習と聞いて受検するか迷いました。自分にはとても合格する自信がなかったのですが、各講義の先生方の熱心な指導を受けるうちに、たとえ試験に合格できなくても警備員としての基礎知識が深まるならと思い切って受検願書を提出しました。

とは言っても試験までは、講習終了後2週間程度しかないので筆記試験対策は、テキストと問題集を毎日図書館に通って2～3時間勉強しました。実技試験は6科目あり、その動作・セリフを覚えることをいろいろな方法を試してやってみましたが、年齢の為なかなか覚えられず苦労しました。試験は朝10時から夕方6時までかかり筆記試験は合格したものの、午後からの実技試験は練習不足のため夕方にはもうヘトヘトになりながらも、一緒に試験を受けた現職の警備員の方に励まされアドバイスも受けながら最後になんとか合格することができました。

これも連合会の関係者の皆様が土曜・日曜も返上して熱心にご指導にあたっていただいたお蔭と深く感謝いたしております。そして、年齢に関係なく何事にもチャレンジ精神を持つことの大切さを改めて実感いたしました。今後はこの経験を生かして就職活動に役立てたいと思っております。

有難うございました。



警備業務講習面談会

シルバー人材センターだより

公益社団法人 小松市シルバー人材センター

「農業に励んで健康増進」

小松市では、高齢化により畑を管理できない方が増え続けている中、当シルバー人材センターでは遊休畑地を活用し、農園事業を新たな就業機会の場と捉え、センター近郊の花坂町の畑4,173平方メートルを借り受け、本年5月23日に「スマイルシニア農園」を開園いたしました。



シルバー農園開園式

当日は、農園の趣旨を理解した会員15名が集まり、農業経験豊富で道の駅にも野菜を出荷している2名の指導員により、さつまいも（安納芋と紅あづま）と落花生を植えました。



定植作業

開園するまでには地元町内会、生産組合、地権者はもとより、石川県南加賀農林総合事務所、小松市役所、J A小松市等の全面的な協力により立ち上げることができ本当に感謝しております。

その後、毎週月曜日の午前中3時間を作業の日時とし、6月には坊ちゃんかぼちゃ・枝豆の定植、7月、8月は除草作業、9月にはレタ

ス・白菜・キャベツの定植、10月にはさつまいもの収穫と地元の小学生との収穫体験、11月にはにんにくと玉ねぎを植えました。



収穫作業

参加会員からは「仲間と笑いながら和やかに農作業ができ、ボケ防止になっていい」と、まさにシルバーの共働・共助の精神の実践の場となっています。

収穫したものは、道の駅やシルバー感謝祭等での販売や保育所の給食等に利用していただき、「新鮮でおいしい」との声に会員は元気をもらっています。



サツマイモ収穫

今後につきましては、「配分金は売上金を充てる」ことになっており、少しでも配分が増えるようように

- ①販売から遡って何をどれくらい作付する
- ②加工をどうするか
- ③食堂事業への作物の提供

等をどうするかについて協力団体等から知恵をいただきながら会員一同で取り組んでいます。



公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター

シルバーパワーで 羽咋の農業を元気にしたい！

羽咋市シルバー人材センターでは、今年度から厚生労働省の「地域ニーズ対応事業」と羽咋市の「地域人づくり事業」を



まずまずの天気に恵まれ初定植
(9月1日)

効果的に活用して「シルバーeco農園事業」に取り組んでいます。

きっかけは、衰退する農業への危機にあります。地元羽咋市も農業振興には力を入れていますが、後継者不足などのため遊休農地が少なくありません。

そしてもう一つは「食の安全」です。毎年、食に関わる事件・事故が報道されています。産地偽装、ずさんな衛生管理。

また、農業を多用して作られた野菜への不安もあります。

消費者の中には、安全で安心して食べられる食品に強い関心を示す人たちが増えています。

これら行政と消費者のニーズに応えるべくこの事業をスタートしました。

▶参加者募集

～会員に限らず、広く市民にも呼び掛け～

「野菜づくりをしたいけど畑がなくて・・・」、
「家庭菜園があるけど、実は自己流で・・・」、
「自分一人では億劫。仲間がいたらなあ。」それぞれの思い・夢を心に秘めた人たちが集まりました。

栽培は減農薬に徹し、当センターが「剪定した枝葉を原料」に作っている土壌改良材を使用し、環境に配慮＝エコ(eco)にこだわりました。

こうして初夏の頃にまいた種が、秋になり待望の初収穫の日を迎えました。(左写真) まるま



ると肥え太った白菜に、メンバーからは感嘆の声が上がり、笑みがこぼれました。

収穫した野菜は、地元J Aや飲食店などへ販売しますが、スーパーとの価格競争に一喜一憂する毎日です。

▶将来の目標、膨らむ夢・・・

秋野菜の収穫も終わり、今は来シーズンに向けて準備しています。



金沢下安原の
大規模農園を視察

この事業をスタートするにあたり、石川県羽咋農林事務所

に営農指導について相談したところ、農林水産省の補助事業を受けてハウスを建設することになりました。50m級のハウス2棟をメンバー自ら建設します。

「来シーズンは何を植えようか？」メンバーの思いは膨らむばかりです。

研修のため、金沢市下安原地区の大規模農家を視察した時は、そのスケールの大きさに圧倒されていましたが、初収穫を終えた今、自信に満ちあふれているようです。

事業としては、まだ十分な利益を生み出すまでには至っていませんが、「いつか必ず羽咋の農業を元気にしよう!」、「安全で美味しい野菜を食卓に届けたい!」メンバーの熱い願いです。

ここまでたどり着けたのも、陰になり日向になりご指導ご助言くださった連合会を始めとする関係機関各位のお陰と感謝しております。



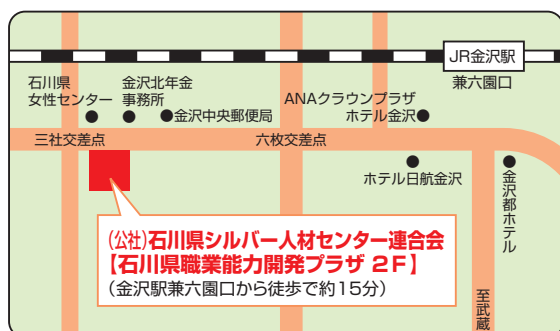
招き猫ならぬ「招き案山子」
製作者に因んで「カズオちゃん」と名付けられ、青空市場のPRに貢献しています。
(川浪和雄会員製作)

あなたの街の シルバー人材センター

公益社団法人	金沢市シルバー人材センター	TEL 076-222-2411
公益社団法人	小松市シルバー人材センター	TEL 0761-47-2855
公益社団法人	七尾市シルバー人材センター	TEL 0767-52-4680
公益社団法人	加賀市シルバー人材センター	TEL 0761-73-2456
公益社団法人	白山市シルバー人材センター	TEL 076-275-7604
公益社団法人	羽咋市シルバー人材センター	TEL 0767-22-2700
公益社団法人	野々市市シルバー人材センター	TEL 076-294-8303
公益社団法人	珠洲市シルバー人材センター	TEL 0768-82-6886
公益社団法人	輪島市シルバー人材センター	TEL 0768-23-8033
公益社団法人	能登町シルバー人材センター	TEL 0768-76-2680
公益社団法人	かほく市シルバー人材センター	TEL 076-281-3655
公益社団法人	志賀町シルバー人材センター	TEL 0767-42-2170
公益社団法人	津幡町シルバー人材センター	TEL 076-288-4462
公益社団法人	中能登町シルバー人材センター	TEL 0767-76-8060
公益社団法人	能美市シルバー人材センター	TEL 0761-58-4060
公益社団法人	宝達志水町シルバー人材センター	TEL 0767-29-4850
公益社団法人	内灘町シルバー人材センター	TEL 076-286-2992
公益社団法人	穴水町シルバー人材センター	TEL 0768-52-4680



設置市町（18市町）
 未設置市町（1町）
 （平成26年4月1日 現在）



編集後記

機関誌 33 号刊行に当たり、お世話いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

北陸新幹線金沢開業の記念する“輝かしい”年です。3月14日午前6時発の1番列車がこれから北陸地方にもたらす経済貢献ははかりしれません。

皆さんとともに、お祝いたします。